

仕事 の窓 ③

経済産業部

琉球泡盛を海外へ

～沖縄国際ハブクラスターでは琉球泡盛の海外展開をサポートしています～



製造工程の体験(久米島の久米仙)



年代の異なる泡盛のテイスティング(忠孝酒造)

今年1月、泡盛メーカー3社と株式会社Blueship、沖縄は、公益財団法人沖縄県産業振興公社の「万国津梁産業人材育成事業」を活用して海外から専門家を招聘し、海外で通用するブランディングについて勉強会を開催しました。

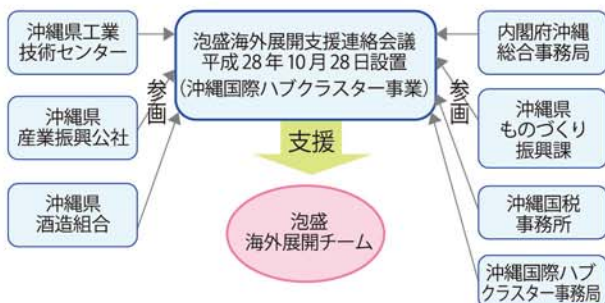
経済産業部では、海外展開に取り組む企業をサポートする産学官金ネットワーク「沖縄国際ハブクラスター」において、沖縄国税事務所や沖縄県等関係機関が参画する「泡盛海外展開支援連絡会議」を平成28年10月28日に設置しました。同会議では、忠孝酒造株式会社、瑞泉酒造株式会社、株式会社久米島の久米仙、株式会社Blueship、沖縄の市場ニーズにマッチした商品開発・ブランディングによる海外展開の取り組みについて支援を行っています。

招聘したブランディングチームは、主に西洋圏を中心に活動を行っており、ウォッカやテキーラといった有名酒類をはじめ様々な製品のブランド化を世界中で手がけ、活躍しています。彼らは約1週間の滞在中、各泡盛メーカーを訪問し、工場や貯蔵施設の見学、社長や職人と意見交換を行い、ブランディング、海外展開の手法について助言を行いました。今回の滞在を経て彼らは、「泡盛は品質・味がすばらしく、独自性・特異性がある」、「テキーラのように独自性を持つアルコールとして興味をひけるのではないかと琉球泡盛の可能性に期待しました。」



琉球泡盛の欧米展開に関する4社記者会見

支援体制図



ブランドデザインのための意見交換(瑞泉酒造)

今後、泡盛メーカーは、琉球泡盛の欧米展開に向けたブランディング戦略を練り上げ、欧米市場のニーズに沿った新しい切り口のPRに挑戦します。